		L
Machine vice with force amplifier		
Patent Number:	□ US4899999	
Publication date:	1990-02-13	
Inventor(s):	ARNOLD FRANZ (DE)	
Applicant(s):	FRESMAK SA (ES)	ĺ
Requested Patent:	Г <u>ы21127275</u>	
Application Number:	US19880252509 19880930	
Priority Number (s):	DE19873733849 19871007	
Classification:	B25B1/10	l
EC Classification:	B25B1/10C, F16H25/18B	l
Equivalents:	AT212488, BE1001081, CH675978, DE3733849, ES2010615, FR2621514, GB2210567, IT1228163, JP2617534B2, NL8802187, SE8803529, YU186988	
Abstract		
A machine vice with force amplifier comprises a base member (1) with an upwardly open, elongated recess (2), a fixed jaw (4) arranged a under side a unitary projection extending into the recess (2), with a spindle nut (7). A tightening device (8, 9) is arranged in the recess (2), consisting of a screw spindle (8) with force amplifier engaging in the spindle nut (7), which are adapted to be driven by a common handle ewxtending perpendicular to the spindle axis (A), against which plate the tightening device (8,9) abuts. The base member (1) comprises a		

the reaction plate (11) at its one end (1a) and corresponding threaded bores (13a) for its screws (12).

Data supplied from the esp@cenet database - I2

⑲ 日本国特許庁(JP)

⑩特許出願公開

四 公 開 特 許 公 報 (A)

平1-127275

@Int Cl.4

庁内整理番号

匈公開 平成1年(1989)5月19日

B 25 B

1/02 1/06 1/24

7908-3C 7908-3C A-7908-3C審査請求 未請求 請求項の数 6 (全6頁)

図発明の名称 増力型機械バイス

> 20特 願 昭63-253675

❷出 願 昭63(1988)10月7日

優先権主張 ூ1987年10月7日孁西ドイツ(DE)勁P3733849.8

79発 明 者 フランツ アーノルド ドイツ連邦共和国、デイ - 8960 ケンプテン、スパツツェ

識別記号

ンヴェッグ 20番地

创出 顖 人 フレスマク エス、エ スペイン国, ギプスコア, 20800 サラウス アラバ カ

レラ 45番地

砂代 理 人 弁理士 佐田 守雄 外1名

細

1. 発明の名称

増力型機械バイス

2. 特許請求の範囲

」. 上向きに関ロした細長い凹所をもつ概ねび 形断面の台部材と、凹所にわたってまたがる 台部材の一端に配置された固定あごと、台部 材に固定あごに対して移動可能に取付けられ、 下側に凹所内に延びかつナットを有する突出 部を有する可動あごと、凹所内に配置されて その長さ方向に延びるねじ軸から成る締付部 材と、ハンドルによって作動されるナットに 係合する増力手段と、台部材の他端のねじ軸 の軸線に対して直角方向に延びる取付面に、 該取付面に設けたねじ孔に螺合する複数の取 付部材によって固定され、かつ締付部材と隣 接する固定反作用板とを有する増力型機械バ イスであって、固定あご(4)と台部材(1)とが 一体に形成され、可動あご(5)と突出部(6)と が一体に形成され、台部材(1)の一端部(1a)

に、反作用板(11)を取付けるための取付部材 (12)用の対応するねじ孔(13a)をもつ第2取 付面(14a)をもち、反作用板(11)は取付部材 (12)によって取付面に当接されて台部材(1) の場部(la)(lb)の1つに選択的に固定される ようになっていることを特徴とする増力型機 械パイス.

- 2. 第2取付面(14a)が、可勤あご(5)から違い 方の、固定あご(4)の後側面(4a)との共通平 面内に位置していることを特徴とする請求項 1 記載の機械パイス。
- 3. 反作用板(11)の下線(11a)が、凹所(2)の底 部(2a)よりも高い位置に配置されていること を特徴とする請求項1まは2記載の機械バイ ス.
- 4. 凹所(2)の底部(2a)が、台部材(1)の両端部 (la)(lb)に向っていることを特徴とする請求 項3記載の機械パイス。
- 5. 反作用板(11)に回転可能に支持され、かつ 連結部材によってねじ軸(8)に回転はできな